

家畜衛生情報

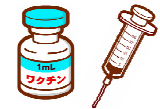
沖縄県及び鹿児島県で牛流行熱の発生を確認！

平成 27 年 9 月上旬から 10 月初旬にかけて、沖縄県及び鹿児島県で牛流行熱の発生がありました。牛流行熱は近年、沖縄県内の一部地域の発生にとどまっており、九州以北では 24 年間発生がなかったことからワクチン接種率は低い状況です。一方、中国や台湾などでは、毎年のように流行が報告されており、日本への侵入リスクは、これまで以上に高まっていると考えられます。

飼養衛生管理基準を遵守し、牛流行熱の発生予防、まん延防止に努めていただくようお願いします。

牛流行熱とは（家畜伝染病予防法で届出伝染病に指定）

- 牛流行熱ウイルスの感染によって起こる急性熱性疾患
- 主な症状は、発熱、流涎、呼吸速迫、関節痛など
- 吸血昆虫（蚊、ヌカカ）により牛に感染
- 予防は、ワクチン接種（吸血昆虫の活動が活発になる夏前に実施）



沖縄県・鹿児島県の発生事例（平成 27 年 12 月 4 日現在）

- 沖縄県 1 例（3 戸 4 頭）、鹿児島県 6 例（6 戸 16 頭）
- 全て黒毛和種での発生、比較的小規模にとどまっている
- 検出されたウイルスは、近年、中東や東アジアを中心に流行しているタイプと遺伝学的に近縁のウイルス株であることが判明
- 海外では同じタイプのウイルス株による大規模な流行があり、乳用牛の発症牛のうち約 10% が死亡した事例があるなど、従来タイプと同等又はそれ以上の病原性を持つ可能性がある

兵庫県でイバラキ病を疑う疾病の発生を確認！

平成 27 年 10 月中旬から 12 月 8 日までに、兵庫県でイバラキ病を疑う症状を呈する牛（33 戸 42 頭）が確認されました。12 月 8 日現在、兵庫県以外で報告はありませんが、イバラキ病を疑う症状を呈する牛が確認された場合は、獣医師、家畜保健衛生所に御連絡をお願いします。

イバラキ病とは（家畜伝染病予防法で届出伝染病に指定）

- イバラキウイルスの感染による牛の嚙下障害を主徴とする疾患
- 感染初期には、発熱、食欲不振、結膜の充血、浮腫、流涎、泡沫性流涎などが認められ、その後、舌麻痺や咽喉頭麻痺による嚙下障害が現れる
- 流産が起こることもある
- 吸血昆虫（ヌカカ）により牛に感染
- 予防は、ワクチン接種（吸血昆虫の活動が活発になる夏前に実施）



家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		

